

# 活セン ニュース

発行：いなべ市市民活動センター TEL：0594-74-5806 FAX：0594-74-5834



市民活動センターは、住みよいまちづくりをすすめる市民活動団体、ボランティア団体など、あなたのセンターです。皆さんにとって使いやすいセンターを目指しています。ご意見、ご要望をどんどんお寄せください。

## コーヒー寄付金 2019 年度助成団体決定！



いなべ市市民活動センターの事務所の中に、コーヒーマシンがあります。このコーヒーを飲んで、市民活動団体を応援しようと思った「コーヒー寄付金」です。今年で4回目を迎えたたくさんの団体に応募していただきました。審査の結果、次の3団体に決定しました。

### ♥ ひまわり

ハーモニカ演奏のサークル  
デイサービス、障がい者施設、保育園などで  
出前演奏を行なう。



### ♥ あーちゃんのとて

主に員弁町の子育て支援センターにて育児の  
お手伝いや小物作りなどをする。  
支援センター以外でも託児応援などを行な  
っている。



### ♥ さともりビレッジ

萬笑院の施設を借りて、山や畑など  
野外で自主保育をする。  
40組程の登録者がいて、行きたいと  
きに受け入れる「居場所」になっている。



市民活動センターにて、コーヒーをお飲みいただき、寄付金積み立てにご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

※審査基準 現在は活動範囲が狭いが、その活動は地域社会に役立ち、今後も継続が見込まれる団体であること。または一般の助成金申請が難しい団体に助成金を交付する

# スマホ講座

ドコモショップいなべ店協力

2月20日（木）、ドコモショップいなべ店の協力で、スマホカメラの上達法の講座を午前、午後の2部で開催しました。

スマートフォンの普及で、写真をスマホで撮る方が増えています。そのため、きれいに写真をとる工夫、撮った写真を加工する方法などを学びました。

写真の基本知識、構図、アングル、タイミングなどの話から、撮った写真を加工する「アプリ」をインストールとアプリの使い方まで指導され、写真をフェイスブックに載せる方もいて、熱心に説明を聞いていました。

昨年度から、ドコモショップいなべ店の協力で、社会貢献活動としてこのような講座を開催しています。参加者の関心も高く、今後も開催していきたいと思えます。



# 相続 & 遺言セミナー

2月29日（土）いなべ市市民活動センターにて、相続セミナーを開催しました。これは、市民活動や社会貢献を応援する遺贈寄付に関心を寄せてもらい、その準備として遺言書の作成を学んでいただくことを行いました。

講師は、行政書士の伊藤圭子さん。政府の新型コロナウイルスの拡大防止要請直後のセミナーとあって、会場では、参加者にマスク装着と手指の消毒をお願いしました。

遺言書には、費用はかからないがすべてを手書きで作成する「自筆遺言書」と、費用はかかるが裁判所の検認が要らない公証役場で作成する「公正証書遺言」の2種類がある。

伊藤さんは、アニメのサザエさん一家をモデルとした家系図を用いて、わかりやすく相続人の特定や遺言書の書き方を説明しました。

参加者からは「遺言について知らないことが多かった」「自分たちには程遠いことだと思っていたが考え直しました」と感想が寄せられました。

また遺贈寄付については「相続人以外に寄付するため、家族にその意味と気持ちを伝えておくことが大切だと思いました」と参加者それぞれの思いを胸に、セミナーを終えました。



講師は行政書士の伊藤圭子さん



参加者全員に手指を消毒しマスクを装着していただきました。

# 2020 年度 いなべ市市民活動センターの主な取り組み



## 基本事業

市内で活動する団体の活動支援・応援を行います。  
団体の活動を支援する具体的な取り組み  
助成金講座、チラシ作成のための講座などを開催。  
こんなことを支援して欲しいなど、皆さまの要望、ご意見をお寄せください。  
ボランティアを始めてみたいなどの相談や、活動団体の紹介も行っています。

## ヒト・モノ交流の促進

使えるのに、捨てるのもったいない、など物品の提供、欲しい方に使っていただく  
欲しいモノの情報を公開するなど、多くの方が参加しやすい方法をつくる。  
人の交流、ボランティアに興味がある、ボランティア活動をしてみたい、また、団体からは、  
こんな方を募集しているなどの情報を求めます。マッチングを進めます。

## NPO カフェ

今年も「NPO カフェ」を開催します。いろいろな社会の課題、問題について話します。  
参加自由、どなたでも参加できます。今年は、開催場所を移動し、市内を循環します。

## スマイルフェスタの実施

市内外で活動するボランティア団体、企業の社会貢献活動の紹介などを行います。  
皆さんの活動を紹介し、ボランティア人口の拡大をすすめます。

## まちづくり研修の実施

全国のまちづくり事業をみて、いなべ市で活かせる情報を得るために研修を行う。

## NPO カフェ *いろいろな視点から、意見交換！！*

お茶をしながら、いろいろなテーマで意見交換。  
これからの社会を、住みよいく感じるまちづくりを  
目指して、話しませんか??



4月18日(土)	テーマ	女性目線のボランティア活動とは?	
			市民活動センターにて、9:30~11:30
5月16日(土)	テーマ	ボランティアは、何のため	
			大安公民館にて 9:30~11:30
6月27日(土)	テーマ	話題のプラスチック汚染を考える	
			北勢市民会館にて 9:30~11:30

# まちづくり研修～阪神淡路大震災から防災を学ぶ

1995年1月17日5時46分 兵庫県の淡路島を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、近畿圏に甚大な被害を及ぼしました。「阪神淡路大震災」あの日、何が起こったのか！市民活動センターの登録団体の皆さんで、「大震災から防災を学ぶ」として、3月1日～2日、神戸市の「人と防災未来センター」と淡路市の「北淡震災記念公園」を視察しました。神戸の防災センターでは、震災の様子が映し出される映像や展示されたすさまじい写真を見て館内を巡りました。館内では、震災体験者である語り部さんによる「あの日になにが起こったのか」の体験談がありました。

語り部さんは、いなべ市に何度も行ったことがあるよと話され、とても親しみを感じました。「近所に住む息子がつぶれた家の下敷きになり、みんなして救い出してくれた」と極限状態でも助け合いで命が助かったという話に胸がうたれました。

淡路の北淡震災記念館では、大きな地面のズレを見て、改めて地震の大きさを実感しました。阪神淡路大震災から25年、東日本大震災からでも、9年、人々の記憶から徐々に遠ざかります。

今回の見学で、改めて地震を恐ろしさを実感しました。この経験を、地域の防災にも活かしていきたいと皆さん話していました。



神戸 人と防災未来センターにて  
語り部さんの震災体験を聞きました。



淡路市 北淡震災記念館にて  
地震で起きた段差を見ることができました。

## 新型コロナウイルスの感染が、大きく広がっています。

いなべ市でも、3月から、集会、イベントがほとんど中止になっています。

登録団体のイベントも中止が相次いでいます。感染防止のためやむをえないことですが、皆さんの活動が衰退していかないように、SNS（ホームページ・フェイスブック）を使って発信します。

「こんな活動続けています。」「内容を縮小して頑張っています」などの情報をお寄せください。

## いなべ市市民活動センター

いなべ市員弁町笠田新田 111 員弁老人福祉センター内

TEL (0594) 74-5806 FAX 74-5834

E-mail [i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp](mailto:i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp)

HP <https://inabeshiminkatu.jimdo.com>

委託事業運営者 NPO 法人 いなべ市民クラブ

